

注意：リアルタイムPCR装置が必要です。

今日からはじめる siRNA 実験と microRNA 研究

「siRNA 実験手技」

siRNA による遺伝子発現抑制は培養細胞での遺伝子機能解析の強力なツールとして広く普及しています。実際に siRNA 実験を始めるために必要となる基本的な情報と実験系をデザインする際の重要なポイントの紹介。特に siRNA の実験で問題となる off-target 効果（非特異的遺伝子の抑制）を最小限に抑える有効な方法の紹介。

これから siRNA による実験を始める方、実際に siRNA 実験を行っているが抑制効果が思うように得られず悩んでいる方、また siRNA 実験の最前線にご興味がある方にも適した内容です。

「microRNA 発現解析・機能解析手法」

microRNA は機能性 RNA の一種として知られており、発生生物学、細胞生物学、ガンや疾患研究、臨床研究などの幅広い分野で研究されています。最近では microRNA 発現解析を効果的に行うにあたっての情報が蓄積されており、さらには、人工的な microRNA 分子を用いる事により、Gain-of-function や Loss-of-function 等の microRNA 機能解析が可能になりました。今回のセミナーでは microRNA 発現解析や機能解析を行う際に考慮すべき実験手技や、microRNA 解析における内在性コントロールの選択や機能解析を行う際の検証方法などの具体的なデータを示しながら、幅広い microRNA 研究に有用となる知見の紹介。

日時：2009 年 5 月 19 日（火曜日） 17:00～19:00

17:00-18:00 siRNA 実験手法の紹介

18:15-19:00 microRNA 実験手法の紹介

場所：岡山大学 医学部 管理棟 6 階 第 9 カンファレンスルーム

演者：アプライドバイオシステムズジャパン(株)

アプリケーションサポート部門 白神 博

対象：興味のある方 定員：40名



Make Your
Silencing Roar

協力：高塚ライフサイエンス(株)

参加人数把握のため 5 月 15 日(金曜日)までに、共同実験室 小野(086-235-7472)まで、
セミナー種類・教室(学籍)・氏名・内線をご連絡ください。

本件担当：共同実験室 磯本幸成 kyo3@cc.okayama-u.ac.jp

注意：大学院医歯薬学総合研究科の単位認定にはなりません